

2006年6月27日

東大阪宇宙開発協同組合

■ まいど1号の開発状況について ■

当組合では NEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）からの委託事業として、汎用小  
型衛星 PETSAT を実現するにあたり、現在 2 機の実証衛星（SOHLA-1、SOHLA-2）の研究開  
発を行っております。

プロジェクト開始当初は、SOHLA-1 は 2005 年度（2006 年初頭）の完成を、SOHLA-2 は  
2007 年度の完成を目指しておりましたが、初めての衛星づくりには予想以上に時間が必要とな  
り、SOHLA-1 については、開発完了予定時期を 2007 度上期末に延期することとなりました。  
SOHLA-2 については、予定通り 2007 年度中に完成させる予定です。

現在、SOHLA-1 のフライトモデル（宇宙に打上げる予定の実機）のコンポーネント製造と、  
SOHLA-2 の試験用モデル開発を同時平行で進めており、NEDO 委託プロジェクトの満期終了  
までの残り約 2 年以内に 2 機とも完成させる予定です。

開発完了後は、できるだけ早いタイミングで打上げられるよう、ロケットの確保にも尽力して  
参ります。（SOHLA-1,SOHLA-2 のうち SOHLA から最初に打上げに成功した衛星には「まい  
ど 1 号」と命名する予定です。）

ご支援頂いている皆様をお待たせいたしまして申し訳ございませんが、関係者一同力をあわせ  
て、より一層の精進を重ねて参る所存でございますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申  
し上げます。

敬具